

第111回
定例会

議案審議等

本会議・常任委員会での審議・行政報告での質疑の中から特に注目する内容についてお知らせします

■日程／6月12日～6月26日
■議案／市長提出 27件
■議員提出 5件

議案の一覧は5ページに掲載
ついでです。

行政報告

新型コロナウイルス対策へ総力
第2波の備えと経済対策

概要

新型コロナウイルス感染症への対応について、市長から行政報告がありました。

5月25日に緊急事態宣言



感染症クリニックは地域医療を守る砦

言の解除が発表されたことを受け、5月26日に第17回気仙沼市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催して国・県の方針を踏まえた本市の対応を協議し、市民向けに必要な呼びかけや発表を行いました。

本市では現在、感染が落ちていますが、今の時期に第2波に備えておくことが重要であり、気仙沼市医師会の協力のもと、5月25日に気仙沼市感染症クリニックを開設しました。

た。市立病院、本吉病院、保健所と連携しながら医療体制の充実と、日常生活に感染症予防の習慣を取り入れていくことにより、感染症に強い地域社会の構築を図っていきます。

一方、社会経済活動の自粛による影響も計り知れないものがあり、特別定額給付金の早期支給を推進するとともに、生活や事業に影響が出ている方に対して、国の地方創生臨時交付金等を活用し、支援を展開しています。今後、国の2次補正などをもとに更なる支援やその後の回復策などを積極的に講じていくとの報告がありました。

■主な質疑

問 学校の3密対策について、どのように進めているのですか。

答 各学校に基本的な感染症対策をしっかりと行うよう指導しています。その上で学校生活において、必要な対策に取り組んでいきます。

問 台風等の災害時の避難所開設について、新型コロナウイルスに対応した訓練を行うべきではありませんか。

答 社会教育施設の施設長会議でも、避難所開設について意見が出されており、職員の研修を行ううえで実施する予定です。

問 生活関連サービス業支援金は、業種一覧に当てはまらない職種についても、今後、国の2次補正を受けて支援を行う考えはありますか。

答 今後の経済対策において、非該当だった業種についても対象にできないか検討していきます。

問 第2波に備えた医療体制の整備について、具体的対応を伺います。

答 市立病院では、例えば新型コロナウイルスに感染した妊婦の分娩の体制等、具体的な状況を想定したシミュレーションを行っています。

病床については、基本的に国・県の要請に基づいて確保していきます。この地域の患者を最優先にしたいという気持ちと併せ、県全体に協力していく考えで進めていきます。

現在、医療材料については、品薄で価格も高騰しており、これまで医療材料の制作をしていない地元業者の方々にも制作を依頼するなど、ご協力をいただきながら確保に取り組んでいます。

医療体制を守るためには、感染者をできるだけ出さないことが必要であることから、高齢者等の施設や保育所等で感染症対策の研修会を行う際に、認定看護師を派遣し、積極的に協力していきます。

新型コロナウイルス関連の記事は15ページにも掲載しています。



三陸道からの誘客に期待

関連予算

道の駅オープンに向け、出資金

道の駅「大谷海岸」の開店準備費として、運営予定者である(株)本吉町産業振興公社に対し、4000万円を出資するものです。予算の内容は、人件費やプライベートブランド・飲食メニューの開発費、広告宣伝費等に充てられます。

また、冷蔵庫やオープン等の厨房設備、什器及び冷凍冷蔵ショーケース、器具消毒保管庫等の備品を購入するため、8500万円の予算が計上されました。

一般会計予算特別委員会での主な質疑をご紹介します。

問 出資金の回収見通しを伺います。

答 出資金ですので、配当の可能性がありますが、何年後に配当があると明言できるものではありませんが、なるべく早く配当できる時期が到来するよう、市も公社も最大限努力していきます。

問 貸付期間はどのよう
に設定したのですか。
答 建物や構造物をその
土地に移すという目的か
ら、一定の期間が必要と
考えていました。
定期借地権の期間など
を考慮して、約20年間と
設定しています。



保存される震災伝承施設 (画像は震災当時)

新しい道の駅で交流人口拡大

気仙沼市道の駅大谷海岸条例制定について
(議案第18号)

概要

被災した道の駅「大谷海岸」を再建し、道路利用者による良好な休憩の場を提供するとともに、観光情報等の発信、農林水産物及び地域特産品の販売等による産業振興及び地域の活性化を図るための拠点施設となることを目的として、令和3年2月

にオープンする予定の道の駅「大谷海岸」の設置について、条例を制定するものです。

近接した三陸道のフルインターチェンジ、風光明媚な大谷海岸の好立地を活かし、更なる交流人口の拡大に寄与することが期待されます。

原案可決

主な質疑

問 売り場面積が仮設の3・5倍になるとのことですが、新たに雇用するスタッフと併せ、十分対応できるのですか。

答 仮設を営業しながら新しい道の駅の開店準備を行うため、段階的にスタッフを雇用していき、と考えており、現在は2名を募集しています。

現在は正社員が3名でパート雇用が8名ですが、最終的には正社員7名、パート雇用を17名程度と考えています。

概要

南気仙沼復興市民広場整備事業区域に存する建物及び付随する構造物等について、建物所有者から残したい旨の協議があったことから、震災伝承ネットワーク協議会の震災伝承施設に登録されたことなどを鑑み、移転先として市有地1559・71㎡を令和22年3月31日まで無償で貸し付けるものです。

なお、建物の移転整備及び維持管理費用は、建物所有者が負担するとの説明がありました。

原案可決

主な質疑

問 貸付期間はどのよう
に設定したのですか。
答 建物や構造物をその
土地に移すという目的か
ら、一定の期間が必要と
考えていました。
定期借地権の期間など
を考慮して、約20年間と
設定しています。

震災伝承施設保存へ土地を無償貸与

財産の無償貸付けについて (議案第26号)

問 施設の公開方法について計画はあるのですか。

答 所有者からは、建物の中には立ち入らず、外観のみの公開を予定しているとのことあります。

問 今回貸与する敷地を通常に貸与した場合の借地料を伺います。

答 評価額の4%として、年間約114万円と算定しています。